

国際協力

駒ヶ根訓練所 NEWS

JICA KOMAGANE TRAINING CENTER

「平成18年度 教員等 国際理解教育現場報告会」の報告

皆さんの周りに「協力隊員だった。」という方はいらっしゃいますか？
長野県は今までに約700名の協力隊員を送り出し、そのうち約650名が帰国し県内外で活躍されています。その一部の方々は、途上国での様々な経験と熱い思いを伝えるために、教壇に立ち日々奮闘されています。そうした同じ立場の先生方同士で情報や意見を交換する場として、また地域にいる方々と知見を共有していくために、JICA駒ヶ根では1月27日に「教員等 国際理解教育現場報告会」を開催しました。



▲モデル授業中の駒村先生

長野県教員採用試験特別選考枠にて採用され、来春より県内の教育現場で活躍される協力隊OB/OG4名が帰国報告を行ないました。報告者からは「世界にはいろんな価値観を持つ人がいること」「人生にはいろんな路があること」等を今後の教育現場で伝えていきたいという言葉が聞かれました。

また、現職教員特別参加制度で派遣された先生は、現在どのように現場で協力隊経験を活かしているかの報告を兼ねたモデル授業を行いました。ここで取り上げた課題は、環境教育で派遣された先生なので、ズバリ「ゴミの分別問題」。実際に学校でも行なったというモデル授業では、参加者に「言葉が分からない状況」を実体験させることで、相手の立場に立った時に自分達には何が出来るかを考えさせるものでした。身近なものを使った手作りの教材には、参加者から「早速自分でも作ってやってみます！」という声が多く聞かれました。

また、現職教員特別参加制度で派遣された先生は、現在どのように現場で協力隊経験を活かしているかの報告を兼ねたモデル授業を行いました。ここで取り上げた課題は、環境教育で派遣された先生なので、ズバリ「ゴミの分別問題」。実際に学校でも行なったというモデル授業では、参加者に「言葉が分からない状況」を実体験させることで、相手の立場に立った時に自分達には何が出来るかを考えさせるものでした。身近なものを使った手作りの教材には、参加者から「早速自分でも作ってやってみます！」という声が多く聞かれました。



モデル授業参加者

TOPICS

「平成18年度 教員等 国際理解教育現場報告会」の報告	P1
JICA国際協力 中学生・高校生 エッセイコンテスト2006レポート	P2
訓練所所長離任のあいさつ	P2
訓練所所長就任のあいさつ	P2
学校交流	P3
元気にやっとなるけ?	P3
子どもたちの輝く笑顔のために	P4
平成19年度JICA海外ボランティア 春募集体談話&説明会会場	P4
お国自慢レシピ	P5
訓練所の1日	P5
長野県出身ボランティア 奮闘レポートリレー	P6
バン格拉ディッシュ マスコミ	P6
出発コメント	P7
訓練所こぼれ話	P7
新国際交流推進員紹介	P8

駒ヶ根訓練所 (JICA駒ヶ根) の 地域連携事業

訓練所は、JICAボランティア派遣前訓練・研修の他に、県や自治体・学校等と連携した開発教育・国際理解教育の実践支援についても、随時ご相談を受付けております。

平成19年度 駒ヶ根訓練所 訓練予定

青年海外協力隊派遣前訓練
平成19年度1次隊
平成19年4月4日(水)～6月7日(木)
平成19年度2次隊
平成19年7月11日(水)～9月13日(木)
ボランティア派遣前合同訓練 (JOCVとシニア海外ボランティアの合同訓練)
平成19年度3次隊
平成19年10月10日(水)～12月13日(木)
平成19年度4次隊
平成20年1月9日(水)～3月13日(木)

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2006レポート

開発教育支援の一環として実施しているエッセイコンテスト2006は、テーマを「世界のみなが幸せになるために～私が考えること、できること～」として作品を募集した結果、全国の中学校、高等学校、海外の日本人学校等から、中学生28,123名、高校生15,962名の応募がありました。長野県からは昨年度を大きく上回る、中学生655名、高校生633名の応募（昨年度は、中学生298名、高校生425名）がありました。

多くの素晴らしい作品の中から、審査の結果、県内からは個人賞7名（中学4名、高校3名）、また、特別学校賞1校（高校）、学校賞12校（中学8校、高校4校）が選ばれました。当訓練所では受賞した各学校を訪問し、授賞式を実施させて頂きました。受賞された皆様、各学校には心よりお祝い申し上げますとともに、ご支援頂いた皆様に深く感謝申し上げます。



▲長野県上伊那農業高等学校受賞者の皆さん

エッセイコンテスト2006 受賞者・受賞校一覧

中学生の部

学校賞：佐久市立浅間中学校、安曇野市立三郷中学校、飯島町立飯島中学校、長野市立更北中学校、安曇野市立穂高東中学校、伊那市立伊那中学校、駒ヶ根市立赤穂中学校、長野市立鬼無里中学校

個人賞名	国内機関名	都道府県	氏名	性別	学年	タイトル	学校名
入選	JICA駒ヶ根	長野県	あかはね わたる 赤羽 道	男	1	これからの自分に	伊那市立伊那中学校
//	//	//	のいけ すぐる 野池 傑	男	2	これが僕のスタートライン	国立大学法人信州大学 教育学部附属長野中学校
青年海外協力協会会長賞	JICA駒ヶ根	長野県	ささ お あき 笹尾 安紀	女	3	地球市民として	国立大学法人信州大学 教育学部附属松本中学校
//	//	//	つがね しずほ 津金 静保	女	3	ランドセルから考えること	富士見町立 富士見高原中学校

高校生の部

特別学校賞：長野県上伊那農業高等学校
学校賞：長野県下伊那農業高等学校、長野県豊科高等学校、長野県上田梁谷丘高等学校、長野県飯田風越高等学校

個人賞名	国内機関名	都道府県	氏名	性別	学年	タイトル	学校名
入選	JICA駒ヶ根	長野県	こばやし まりこ 小林 真理子	女	2	国際協力の第一歩	長野県須坂高等学校
//	//	//	サヤミ ルナ	女	2	ネパールを訪れて感じたこと	長野県上伊那農業高等学校
青年海外協力協会会長賞	JICA駒ヶ根	長野県	きたばやし ちか 北林 千佳	女	2	ボランティアを通して	長野県下伊那農業高等学校

また来年度も「エッセイコンテスト2007」として6月上旬～9月下旬までの応募期間で実施予定ですので、対象となる中高生のご参加、関係者の皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

訓練所所長離任のあいさつ

加藤 高史 (かとう たかし)



平成17年3月に着任して以来、早くも2年の歳月が流れました。私はマラウイから次は駒ヶ根訓練所と聞いて喜んでやってきました。私と駒ヶ根市には不思議な縁があり、中原市長を团长とする駒ヶ根交流団をネパールで受入れ、昨年はその一員としてネパールに行くことができました。ここに住んでみて当訓練所は駒ヶ根市民の皆様から絶大な支援を受けて存在していることを痛感した次第です。ここで深く感謝申し上げますとともに、後任の所長にもしっかりと引き継いで参ります。2年間本当にありがとうございました。

訓練所所長就任のあいさつ

山形 茂生 (やまがた しげお)



大阪府出身。昭和55年青年海外協力隊・理数科教師隊員としてケニアに赴任し、その後、ケニア協力隊調整員を務める。昭和57年、国際協力事業団（現・国際協力機構）に入団し、コートジボワール事務所次長、沖縄国際センター業務課長を歴任。平成15年12月からナイジェリア事務所長を務め、今年4月より現職。

駒ヶ根訓練所が開設されて1年後の昭和55年5月に、候補生としてこの訓練所に参りました。ここで2ヶ月余り語学集中訓練を受けながら、仲間と青春を語り、自然を満喫し、皆様方から温かい支援を受けたこと等、思い出が懐かしく甦ります。今回所長として赴任いたしました。異文化への好奇心と探究心を忘れず、訓練生や市民・県民の皆様がこの20年余りの途上国での経験をお伝えしたいと思います。よろしく願いいたします。

学校交流

学校交流は候補生が地域の児童・生徒との交流を通して、学校現場で実施されている国際理解教育に協力するとともに、自らも国際理解教育を体験し理解する機会となっています。また、隊員として赴任後も文通等で継続的に交流し、任国の子ども達の様子を生で聞ききっかけ作りの役目もしています。

駒ヶ根市立中沢小学校教諭 4年担任 原 茂

「先生、ネパールがあったよ!」Sさんの元気な声が聞こえると、地球儀の周りに子どもたちが集まってきた。「ほら、ここ、ここだよ。」「ほんとだ、こんな所にあったんだね。」候補生との交流を行う話をした後、教室に地球儀を置いた。休み時間になると、その周りに集まってネパールとスリランカを探す子どもたちの姿から、交流に寄せる期待を感じた。

民族衣装を身にまとい、颯爽とプレイルームに現れた3名の候補生を見て、子どもたちから自然に拍手がわき起こった。任国へ何をしに行くのかを含めて自己紹介をしていただいた後、「ティカ」ゲームをした。候補生と児童が打ち解けながら、グループが作られた。

いよいよ交流のメイン・イベントとなった。3名の候補生が3つのブースに分かれ、2国の生活や文化などを教える時間だ。加藤候補生はネパールの公用語“ネパール語”で自分の名前を書くことで言葉に少し触れさせ、江守候補生はネパールの生活や文化をパソコン画面で教えてくれた。岩満候補生はスリランカの生活の様子を写真や本で紹介し、公用語“シンハラ語”を分かりやすく教えてくれた。3グループに分かれた児童は、各ブースを回りながら行ったことのない国に思いを馳せ、画面や候補生の口元に見入っている。あっという間に終わってしまった。「もっと聞きたいな。」という声があちこちから私の耳に届いた。

4年生の社会科では、長野県の様子までで、日本各地のことはもとより、外国のことはほとんど勉強しない。日本に2ヶ所しかない青年海外協力隊の訓練所が駒ヶ根市にあることを大いに生かし、交流を通して出来た『国際理解の小さな芽』を大きく育てていきたい。



元気に やっとなるけ?

今回は特別養護老人ホーム「観成園」からのメッセージです。

駒ヶ根で派遣前訓練が始まった昭和54年度1次隊からずっと候補生を受け入れてくださっている所外活動草分けの存在です。

所外活動先より 隊員へのメッセージ



民族衣装を着て派遣国の様子を話す福田候補生



お誕生日パーティーにみんなで餃子をつくってお祝い(左・土屋候補生)

観成園

28年間の長きにわたり候補生を受け入れていただいている「観成園」が、昨年12月、大型農道沿いの昭和伊南病院近くに新築移転し、18年度3次隊の候補生が初めて新しい施設で所外活動を行いました。広々とした施設の中は「ユニット」と呼ばれる10人分の個室と居間からなる構成単位に分かれています。所外活動ではそれぞれのユニットで散歩をしたりしていました。介護を必要とする利用者との触れ合いは候補生にとって戸惑うこともたくさんあります。それでも「外国で2年間ボランティアをします」と話しかけると「いつ帰ってくるの?大変なことだね。がんばってね。病気にならないようにね。祈ってるよ」と手を合わせてくださる姿にどれだけ多くの候補生が励まされたことでしょう。

職員のみなさんからも「海外の事故のニュースなどを聞くたびに気がかりにしています。どうか体だけは気をつけてください。またぜひ声を聞かせてくださいね」とエールを送っていただいています。

子どもたちの輝く笑顔のために

長野県教育委員会では、人生の中で様々な人生経験を積み、今後熱意をもって教育に取り組もうとする方のために、特別選考枠や社会人枠を設けています。

平成19年度から、長野県の教員試験に合格した青年海外協力隊の経験者7名が、新たに教壇に立つこととなります。

国際理解教育推進を目標に掲げる長野県は、次代を担う若者や子供たちに外国の姿を正しく理解できるように、外国籍の児童によりふさわしい指導を行うためにも、開発途上国の多様な環境の中で活動に取り組んできた協力隊経験者に強く期待しています。

教職員特別枠

河村 留実

マダガスカル共和国／青少年活動／山口県出身
2003・12～2005・12

2003年12月、マダガスカル共和国に青年海外協力隊（青少年活動隊員）として赴任した。現地での私の一日は、村の学校でのレクリエーション指導、識字教育の普及支援、孤児院の訪問に充てられた。赴任前の私の予想に反し、現地の子供たちが逞しく生活している事に驚いた。地球の裏側に住む「恵まれない子ども達」と称される彼らは、私たち日本人以上に生きる力に溢れている。「幸せ」とは…？陽が昇り、時に大地に雨をもたらし、そして静かに闇が訪れる。こんな当たり前の毎日を大切な人と健やかに迎えられること、それこそが「幸せ」なんだと、彼らの澄んだ瞳が教えてくれた。しかし、その幸せを子ども達から奪ってしまうものがある。病気、貧困、環境破壊そして戦争。豊かな国日本に住む私たちに、今、出来ることは何だろうか？



▲ 聾啞学校の生徒と



▲ 笑顔のステキな少女

一人ひとりにあった答えを、今後、教育現場において、子ども達と一緒に考えていきたい。そのためには、子ども達に正確かつより多くの情報を発信しなければならない。我々青年海外協力隊経験者の現地での活動を、人生の過ぎ去りし一コマに留めず、子ども達と共有し、自分の民族に誇りと責任を持ち、そして、他の民族に敬意を払って、この激変する国際社会で逞しく生きていける人間の育成に尽力していくことが、我々帰国隊員に求められる責務と考える。

平成19年度 JICAボランティア春募集体験談&説明会会場

《青年海外協力隊・シニア海外ボランティア》

募集期間：4月10日(火)～5月25日(金)

■ 青年海外協力隊

開催日	開催地	説明会場	開催時間	所在地	電話番号
4月6日(金)	伊那市	伊那市役所 5F会議室	18:30～20:30	伊那市大字伊那部3050	0265-78-4111
4月10日(火)	飯田市	飯田勤労者福祉センター 第1視聴覚室	18:30～20:30	飯田市東栄町3108-1	0265-22-7494
4月13日(金)	諏訪市	諏訪市文化センター 第1集会室	18:30～20:30	諏訪市湖岸通5-12-18	0266-58-4807
4月14日(土)	松本市	松本市中央公民館 4-4会議室	14:00～16:00	松本市中央1-18-1	0263-32-1132
4月20日(金)	上田市	上田市商工会議所(5Fホール)	18:30～20:30	上田市大手1-10-22	0268-22-4500
4月21日(土)	長野市	長野市もんぜんぷら座	14:00～16:00	長野市新田町1485-1	026-219-0020
5月10日(木)	松本市	松本市中央公民館 4-4会議室	18:30～20:30	松本市中央1-18-1	0263-32-1132

■ シニア海外ボランティア

開催日	開催地	説明会場	開催時間	所在地	電話番号
4月14日(土)	松本市	松本市中央公民館 4-4会議室	10:30～12:30	松本市中央1-18-1	0263-32-1132
4月21日(土)	長野市	長野市もんぜんぷら座	10:30～12:30	長野市新田町1485-1	026-219-0020

■ 一日体験入隊

開催日	開催地	説明会場	開催時間	所在地	電話番号
5月12日(土)	駒ヶ根市	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所	9:45～17:00	駒ヶ根市赤穂15	0265-82-6151

◆参加資格：将来、協力隊への参加を希望される方 ◆募集定員：30名 ◆詳細はJICA駒ヶ根ホームページをご覧ください。

■ 個別応募相談

5月7日(月)～5月21日(月)＜朝10時から午後17時まで＞駒ヶ根青年海外協力隊訓練所にて個別応募相談を実施します。報告書の閲覧や、JICAボランティアに対する不安や疑問など個別の相談に応じますので、事前に希望する日時をご連絡ください。連絡先：駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 0265-82-6151 (募集・選考担当)

お国自慢レシピ



訓練所で語学を教えている先生から、出身国のとびっきりおいしいお料理をレシピ付でご紹介!日本人の口に合うように味付けが工夫されています。ぜひお試しあれ!

ペルー料理

Ceviche (セビーチェ)

Arroz con leche (アロス・コン・レチェ)



セビーチェ材料 (4人分)

- タコ …… 300g
- たまねぎ …… 2個
- トウガラシ …… 少々
- きゅうり …… 大1本
- コリアンダー …… 適宜
(なければ三つ葉)
- レモン …… 6個
- 塩・こしょう …… 適宜
- にんにく・生姜 …… 少々
- レタス …… 適宜
- さつまいも …… 適宜
- とうもろこし …… 適宜

アロス・コン・レチェ材料 (4人分)

- 米 …… 1カップ
- コンデンスミルク …… 1缶
- ミルク …… 200cc
- シナモンスティック …… 4本
- クローブスティック …… 4本
- バニラエッセンス …… 少々
- くるみ …… 100g
- ココナッツスライス …… 1袋
- レーズン …… 50g

—セビーチェの作り方—

1. ボールにレモンを絞って、塩・こしょうを入れる
2. 1にみじん切りしたトウガラシ・にんにく・しょうが・コリアンダー(なければ「三つ葉」)を混ぜて、味を見る
3. 玉ねぎをスライスし、水にさらしてから水気を切る
4. タコを1cmほどの厚さにスライスし、2のボールに入れてよく混ぜる。その上に玉ねぎのスライスを敷き詰め30分ほどおいて味を染み込ませてから、盛り付けの前にかき混ぜる
5. お皿にレタスを並べ、4を盛り付け、みじん切りしたコリアンダーをちらす
6. サイドにふかしたさつまいもやとうもろこしを添えて、できあがり
7. セビーチェが少し辛いので、さつまいもを食べながら召し上がれ♪

—アロス・コン・レチェの作り方—

1. 米をバニラエッセンス、シナモン、クローブといっしょに水3カップで煮る
2. おかゆのように煮えたら、コンデンスミルクを入れ、弱火で煮る
3. 2にクルミ(細かくしたもの)、ココナッツとレーズンを入れる
4. 3を水分がなくなるまでよくかき混ぜながら煮詰める
5. プリンのように型に入れ、よく冷めてから召し上がれ♪(暖かいまま食べても、おいしい!)

レシピの主は
誰から?

スサーナ普久原先生

南米のペルー生まれで、とても面倒見のよい素敵な先生です。1985年9月から駒ヶ根訓練所に勤務し、22年間スペイン語を教えています。現在協力隊員がいる中南米12カ国全ての国で、350人を超える教え子隊員が活動してきました。

スサーナ先生は「候補生は語学が苦手でも一生懸命努力して一步一步上達しています。2年後に語学だけでなく人間として一回りも二回りも大きくなって帰ってきてくれることを期待しています。帰国した隊員が訓練所に遊びに来てくれた時に、任国の話を聞くことが何よりの楽しみです」候補生たちにエールを送っています。



語学クラスの教え子とは家族同然の仲!

「訓練所の日」 No.10 ~全体日直~

訓練所の合宿生活を支える候補生による全体日直。その仕事は郵便物/日誌の回収・配布、電話取次ぎ、切手販売、週末希望食事数の取り纏め、自転車点検、夜の巡回などさまざまです。全候補生が班毎に1週間ずつ担当します。訓練所内で唯一「こたつ」がある全体日直室はこの時期候補生のたまり場、おしゃべり場となり、電話取次ぎ待機の仕事も楽しみになっているようです。



郵便切手販売にかかわる業務中

ボランティア 奮闘レポート

report_29

バヌアツ

小学校教諭（塩尻市）

青年海外協力隊

三村 あゆみさん

バヌアツ

面積：1万2,190 km²（新潟県とほぼ同じ大きさ）
 人口：221,417人（2006年、太平洋共同体事務局）
 首都：ポートビラ（1.9万人、98年）
 住民：メラネシア系93%、英仏人2%、
 中国系、ベトナム系等
 言語：公用語はビシュラム語（ビジン英語）、
 英語、仏語の3つ
 宗教：殆どがキリスト教徒（プレスビテリアン、
 ローマ・カトリック、アングリカン、
 セブンス・デイ・アドベンティスト他）
 （外務省HP：各国・地域情勢より）

長野県の皆さんこんにちは。

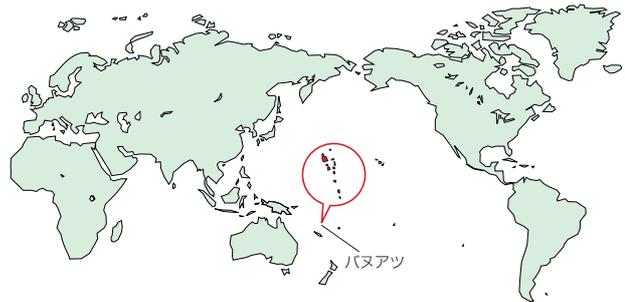
私はバヌアツの首都ポートビラのヴィラノース小学校で音楽を教えています。バヌアツは南太平洋に位置し80の島々からなる島国で、人口は約20万人です。ヴィラノース小学校は幼稚園、中学校が併設されており、全校生徒835名のバヌアツで最も大きな学校です。

子供たちはみんないつも元気に「Miss Ayumi!!」と声をかけてくれます。音楽の時間には教科書、リコーダー、鍵盤ハーモニカを使って音楽を勉強しています。私が赴任した1年3ヶ月前は音楽の授業はありませんでした。駒ヶ根市の皆さんが送ってくれたリコーダーや鍵盤ハーモニカによって子供たちは音楽を勉強できるようになりました。ありがとうございました。どの子もみんな音楽の時間が大好きで、なかには一週間に一時間の授業では物足りず「明日も私たちのクラスに来てリコーダー吹いて。」という子供もいます。最近では音楽を教えたことのなかった先生たちも音楽を教えることに興味をもってくれるようになりました。

もうすぐバヌアツの小学校は夏休みです。子供たちはみんな自分の生まれた島に帰って家族とクリスマスをお祝いを楽しみにしています。バヌアツで過ごす最後の「夏のクリスマス」をやさしいバヌアツの人たちと楽しみたいと思います。（H18年12月）



▲音楽を楽しむ子供たちと三村さん



バングラデシュで駒ヶ根訓練所の 様子が報道される！（予定）

海外の報道機関を日本に招き、JICA国内機関の現場取材し、本国で報道してもらう「海外マスコミ本邦派遣制度」によりバングラデシュのマスコミの方が訓練所に2月24日（土）に取材にいらっしゃいました。

バングラデシュの新聞社「NEWS TODAY」に勤務されているシャフィウル・アラムさんは、以前から協力隊員に何度か会ったことがあるとのこと。印象をお聞きすると「隊員達は日本にいればバングラデシュに来るよりもずっと快適で、ずっといい仕事ができるであろうに、援助が必要な田舎の村で、村人と一緒になって働いています。彼らは言葉に壁があるにもかかわらず、村の人と家族のように馴染んで暮らしており驚くばかり。こんな風に暮らせるのは、いろいろな国の人が援助にきていても日本人くらいだと思います。彼らは富裕層相手ではなく、草の根レベルで働くがゆえに有名になりにくいけれど、その働きには非常に感銘を受けています」と熱く語ってくれました。

現在バングラデシュに赴任するべく、訓練所でベンガル語を学んでいる候補生に対しては、「勇気ある決断をした若い皆さんに尊敬の念を抱いています。私の国に来てくれることを心から歓迎しています。」とコメントを残してくれました。

本国に戻ったあとは、日本での取材をもとに、シリーズで新聞に記事を載せる予定とのこと。ベンガル語で掲載される駒ヶ根訓練所って、どんな感じなのか、ぜひ見てみたいものです。



▲ベンガル語クラスを見学するアラムさん

行ってらっしゃい!! 長野県出身・新ボランティアのみなさん

長野県出身のボランティア計8名が3月下旬から、それぞれの任国へ出発しました。
(敬称略。かっこ内は派遣国名/職種/出身市町村)

【青年海外協力隊】



うるしばら しん や
漆原 伸也
(スリランカ/野球/小諸市)

真っ直ぐ。やがて来る未来を信じて。立ち止まらなくていい。ただただ真っ直ぐ走っていきこう。夢と希望を胸に、仲間と共に新しい空へはばたこう。夢は朽ちない。仲間は裏切らない。何も恐れる必要はない。俺たちは一人じゃない。



えもり あ ゆ み
江守 亜由美
(ネパール/小学校教諭/長野市)

今回、長野県とも関係の深いネパールに小学校の先生として行く予定です。今からネパールの子供達や先生方に会えるのがとても楽しみです。ネパールでたくさんの方のことを学び合い、2年後元気に帰ってきます!!



ひ や し ま あ き こ
美谷島 晶子
(バングラデシュ/村落開発普及員/長野市)

バングラデシュの農村開発のプロジェクトで、行政と住民とのリンク作りに関わります。現地ですべてのことができることをじっくり考え、向こうの文化から学びながら、良い相互作用を起こしていきたいと思っています。



き が さ わ ひ ろ のり
氣賀澤 博徳
(ケニア/文化財保護/駒ヶ根市)

多くの国がひしめく雄大なアフリカの大地にあるケニアへ赴任します。ビクトリア湖畔のキスムという街の博物館で、収蔵品の保存と活用を行います。駒ヶ根市民の代表として両国の懸け橋となるべく堅忍不拔の精神で活動していきます。



にしな
仁科 ゆかり
(ガーナ/青少年活動/長野市)

アフリカの西部にあるガーナに行き、主に中学校の音楽の教師として活動する予定です。どんなことが起きるかわかりませんが、現地の人と共に生活をし、多くのことを感じ、学び、吸収できたらと思っています。楽しんできます!



まるやま り の
丸山 吏乃
(ガーナ/村落開発普及員/佐久市)

ガーナの北部でナショナルパークをベースとした観光開発に関わります。年齢的に経験不足な点はありませんが、言語や文化を学び、様々な知識を習得するための絶好の機会です。いくつもの壁を乗り越えることで苦しみを経験に変え、今後の人生に活かしていけるような活動をして帰って来たいと思います。



もちづき
望月 さやか
(ガーナ/村落開発普及員/松本市)

ガーナ共和国、ケープコーストより車で3時間のところにあるAjumako郡のヘルスポストで、主に乳幼児/妊婦診療や、ヘルスポストに来られないと住民への巡回診療、学生への感染症教育を行う予定です。地域住民が少しでも健康で安全な生活を送れるように精一杯活動していきたいと思っています。



【シニア海外ボランティア】
とみた けんたろう
富田 健太郎 (パナマ/稲作/小川村)

協力隊で活動した時と同じ任国・配属先(農牧研究所)です。その後、専門家等を経て、農業協力を携わり、経験を積んできました。この経験は基礎として、常に初心に戻って、配属先との会話を密にし、「学ぶところは学び、協力できる部分は協力する」という精神で取り組む考えです。

訓練所こぼれ話 No.2

氣賀澤みはるさん

(東京ビジネスサービス株式会社所属)

訓練所で繰り広げられる毎日の中には、写真や記録には残らないけれど忘れ難い、心動かされる一言、面白い出来事、意外なエピソードなどがたくさんあります。そんな訓練所のこぼれ話をご紹介します。今回の執筆者は訓練所の今昔に誰よりも詳しい氣賀澤みはるさん。氣賀澤さんは開所以来28年間勤務されています。

駒ヶ根訓練所が開所されたのは1979年のこと。当時のスタッフルームには手動の和文タイプライターが一台あっただけ、コピー機もFAX機もありませんでした。今は見かけることもないダイヤル電話で、郵便扱いだけで宅配便はなく、東京の事務局からの書類の催促は日常茶飯事でした。

当時は1ヶ月の広尾訓練の後、お寺で座禅訓練を二泊三日で行い、駒ヶ根に引き継がれて2ヶ月訓練という流れで通算105日を超えました。宿泊棟の洗濯場には当時洗濯板とたらいが置かれ、候補生は全て手洗いをしていました。そんな姿を見るにつけ、その健気さに思わず頑張っ！！負けないで！！と心の中で応援し笑むしかありませんでした。宿泊棟西側には、木で組んだ手作りの物干し場がありました。また入浴日は週4回でした。語学研修旅行や野外訓練が二泊三日行われ、コミュニケーションの場が多く、厳しい規則の中での生活も結構楽しんでいたように思います。

ひとつ記憶の中に鮮明に蘇るのは昭和60年NHKホールで行われたJOCV20周年記念式典に候補生と一緒にバスで出かけたときのこと。式典には皇太子殿下、同妃殿下(現在の天皇皇后両陛下)をお迎えしていました。昭和60年度2次隊259名が武田鉄也氏と共に一同ステージに上り、20周年の記念に制作されたJOCVのイメージソング「地球色の日焼け」や、隊歌の大合唱を2階の最前列で見つめながら感動に涙したことです。

青年海外協力隊について何の知識もないまま縁あって通算では28年間。訓練所にいながらにして、世界中を駆け巡っているような毎日で世界の最新情報に触れる事ができ、色々な事を学び育てていただいています。ここで出会った多くの方々から御礼申し上げます。



当時の洗濯物干し場



現在は素敵な庭

APRIL

4月

4日(水)
平成19年度
第1次隊派遣前訓練開始

10日(火)
平成19年度
JICA ボランティア春募集開始
(~5/25まで)

MAY

5月

12日(土)
一日体験入隊
(於 駒ヶ根協力隊訓練所)

中頃
中学生体験入隊
(於 駒ヶ根協力隊訓練所、
主催:駒ヶ根青年会議所)

JUNE

6月

7日(木)
平成19年度
第1次隊派遣前訓練終了

新国際交流推進員紹介

国際協力推進員は、県民のみならずの国際協力の理解の増進と国民参加型協力の促進を図ることを目的とした業務を行っています。3年にわたり県下を飛び回って精力的に活動していた西村真由子元推進員に負けぬ元気な新推進員が2007年1月より業務に就きました。

メマオアハ〜。魔の第3代目国際協力推進員の小林論子と申します。16年度1次隊で青少年活動隊員としてガーナへ派遣され、帰国して半年が経とうとしています。隊員時代はウルルンだ!とか「that's 隊員」と言われた任地にも容易に馴染み、終わってみればあっという間の757日間。その適応力を今後も活かし、普段は県庁で、時々駒ヶ根訓練所で、楽しくお仕事をしたいと思っています。どちらでもすぐに見つけれられると思います。だいがニホンジンに戻ったと自負していますので、気軽に声を掛けてくださいね。宜しくお願いします。

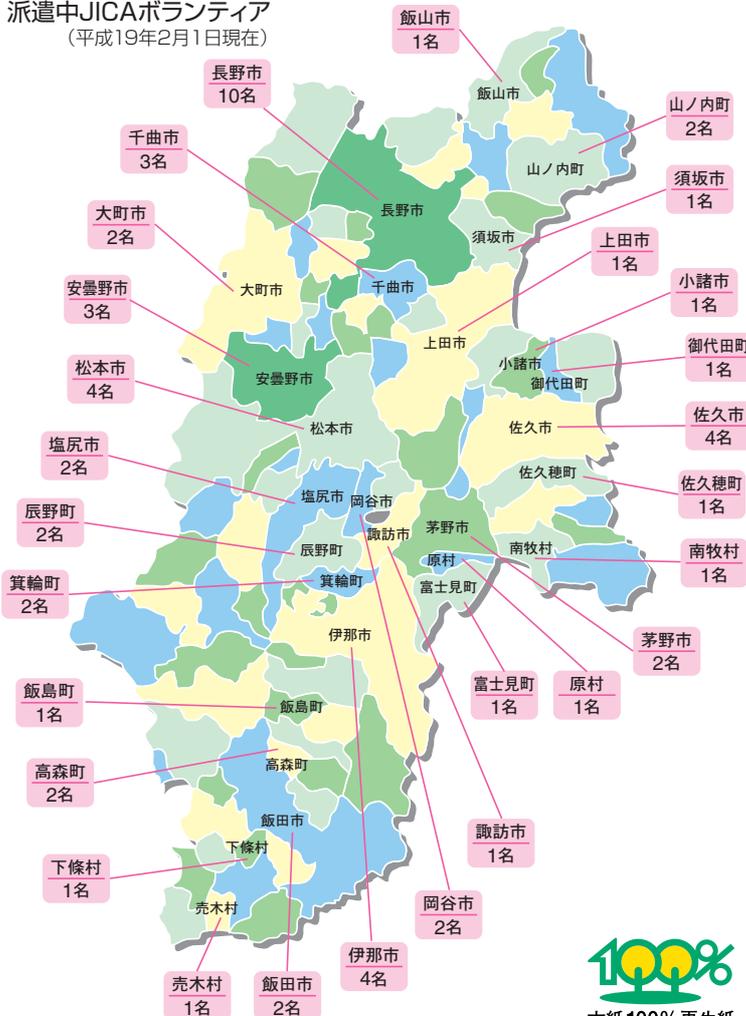


がんばれ!!長野県出身JICAボランティア!

JICAボランティア派遣実績 平成19年2月1日現在

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①青年海外協力隊員数 | ③日系社会青年ボランティア数 |
| 派遣中 51名 (内女性36名) | 派遣中 1名 (内女性1名) |
| 帰国 592名 (内女性236名) | 帰国 13名 (内女性7名) |
| 累計 623名 (内女性272名) | 累計 14名 (内女性8名) |
| ②シニア海外ボランティア数 | ④日系社会シニアボランティア数 |
| 派遣中 6名 (内女性0名) | 派遣中 0名 (内女性0名) |
| 帰国 23名 (内女性5名) | 帰国 2名 (内女性0名) |
| 累計 29名 (内女性5名) | 累計 2名 (内女性0名) |

派遣中JICAボランティア (平成19年2月1日現在)



駒ヶ根訓練所 インターネット情報



駒ヶ根青年海外協力隊からのお知らせ・公開講座・イベント情報など内容は盛り沢山です。本紙「駒ヶ根訓練所NEWS」もPDF版でご覧いただけます。

アドレスは
<http://www.jica.go.jp/worldmap/kantou.html#komagane>

編集後記

今年度から訓練が年4回になり、今までよりもさらに多くのボランティアが駒ヶ岳を望みつつ訓練に励み、この地から世界各国へと旅立っていくこととなります。雄大な自然に囲まれて過ごした日々を時に思い出しつつ、任国で元気に活躍してくれることを願っています。(キ)

100% 古紙100%再生紙

信州発 国際協力

独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所
〒399-4117
長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代)/FAX.0265-82-5336
E-mail/jicakjv@jica.go.jp

